

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月8日 (13:00~13:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 恩房 花島 大塚 加茂 南部 三森 松本美 岡本理

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	人	人	8人

前回の改善計画
 利用開始までに LINEWORKS を活用し写真や図などをわかりやすく掲示し会議などでケアプランなど回覧できるように情報共有し、実際に支援に入ってから気づいた点など情報共有し声掛け、気づかいなど配慮して支援をしていく

前回の改善計画に対する取組み結果
 LINEWORKS を活用し、情報共有と把握を利用者毎にノートにまとめ解りやすく情報の整理を行いつつでも確認できるようにしている。新しい情報や気づいた点、ご家族からの情報や受診結果などリアルタイムで情報共有し気づかいなど配慮して支援することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	4			8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	5			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	3			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	4			8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 新規利用者は事前にわかっている情報は共有し、確認してから支援を行っている。利用開始後に発信される情報も多い、申し送りや会議の場で話し合い情報共有ができています。本人が慣れていない時期には安心して支援が受けられるように気遣いできています。ご家族とも情報共有し、本人・家族の意向に沿った必要な支援ができています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 利用開始前にミーティングの時間が取れないときがあった。本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりをしていくため、ご家族・介護者と事業所職員の関係構築する時間がかかってしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 利用開始時には本人の話を傾聴して、心身の状態や日常生活の状態・自宅環境などをアセスメント情報として共有し、必要としている支援につながる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日(12:30~13:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 恩房 花島 大塚 加茂 南部 三森 松本美 岡本理

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	人	人	8人

前回の改善計画	対応を通して希望や思いをくみ取れる感性を磨き、感じ取ったものを他の職員と情報共有し、ご家族の意見や情報も頂きながら職員一人一人がご利用者の思いを意識して不安等の気持ちに寄り添えるように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者やご家族に積極的に働きかけ希望や不安を表出し、支援の中で気付いた事、感じたことなどご利用者から汲み取れた情報は毎日の申し送りや LINEWORKS、サライト会議で職員間で情報共有し利用者の思いを意識して気持ちに寄り添うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		8			8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7			8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7			8
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者がどうしたいのかを引き出す会話を心がけ、したい事を選択できないご利用者には具体例をだして語り掛け、ご利用者の希望を職員間で情報共有し、迅速な対応ができている。ご利用者の目標はケアプランやミーティング、サライト会議で共有し把握した上でサービスの提供、日々の関わり、業務を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
やりたい事や不安な感情などの自身の思いを言葉で伝えられないご利用者もいるため、本人の希望や思いを一致した目標や支援になっていない部分がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
希望や不安など自身の感情を表現しにくいご利用者の気持ちを職員が言語化し、チームで情報共有し、本人の目標「～したい」を目指した日々のかかわりを目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日(12:30~13:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 恩房 花島 大塚 加茂 南部 三森 松本美 岡本理

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	人	人	8人

前回の改善計画	本人・家族から情報収集したことは、職員個々で抱えてしまうのではなく、LINEWORKS を活用して情報共有していきと共に、情報を見落とさない様にアップした職員は閲覧確認し、申し送り等で声掛け確認行い、チーム全体でケアが円滑に行えるように取り組んでいく
前回の改善計画に対する取組み結果	LINEWORKS 申し送りや業務の中で声掛け合い、情報共有を行うことによってケアにそれらを生かすことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	6			8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	4			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6			8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	6			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々のご利用者の関わりよりADL・生活歴の情報収集し以前の暮らし方等を知ることで、その人自身を知り変化を見逃さないように心掛けた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新規のご利用者について、事前に情報収集は行っているが、実際の支援の中で誤差が生じている事について即時修正ができていないことがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ケアの質の維持向上のため、日々の支援での成功例やひやりハットなどをご利用者個々に情報をまとめファイルし気持ちや体調の変化に気づけるように共有化し即時対応ができるようにしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月9日(13:00~13:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 恩房 花島 大塚 加茂 南部 三森 松本美 岡本理

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	1人	人	8人

前回の改善計画	本人の生活スタイル、人間関係・地域との関係などが切れないようにするため引き続き地域資源にとりえる認知症カフェ・公民館サークル等へ協力し、ご利用者が活用をして行けるように支援をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今までの生活スタイル、人間関係・地域資源など、本人の体調変化に合わせ地域サークルや公民館の活動に参加し、これまでの関係が切れないように支援し家族の報告も行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8			8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8			8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8			8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域イベントや行事に参加できよう計画を立てて実施し、その時の様子など毎月の「小規模たより」で発信し、お会いできないご家族などにも活動報告できるようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サークル活動に参加している際の様子把握しきれない部分もあり、活動内容が本人のADL状態に合っているのか、本人が不安を感じていないか検討が必要となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日々の業務の中で常にアンテナをはり、地域資源の情報を収集する。利用者さんが参加しているサークル活動や関わっている地域の方々と情報共有し、本人の現在のADL等に合わせた活動に参加できるように支援し、関係が途切れないように地域での暮らしを支える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月9日(13:15~13:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 恩房 花島 大塚 加茂 南部 三森 松本美 岡本理

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	人	人	8人

前回の改善計画	事実と個々の解釈は明確に区分して伝えていくようにしていくと共に、目的を職員間で共有することでご利用者の状態変化等に気づき、支援の方法を工夫し、評価し柔軟にサービスを提供して支援にあたる。
前回の改善計画に対する取組み結果	申し送りやLINEWORKSの情報を通して、ケアの統一化を図り職員間での情報共有を行い、利用者さんの状態変化に合わせて看護師の状態確認の訪問等柔軟に支援方法を工夫して対応することが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		8			8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		8			8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	5			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	4			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々に関わりから利用者さんの変化に気づけるように常に観察の視点を持ち、業務を行う事ができている。体調や状態にあわせて静養時間を設けたり入浴・清拭・足浴等柔軟に対応し、無理の無い支援を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源を活用して共に支援を行っているケースはあるが件数も少なく自事業所だけで完結していることが多く地域の方々との支援協力体制が構築できるよにしていけることが必要。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自事業所だけでなく、地域資源を活用しながら利用者さんが地域との関わりをもてるように支援を行うと共に、変化に合わせて適切なサービスを柔軟に提供していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 7 日 (13:00 ~ 13:30)

6. 連携・協働

メンバー 大竹、花島、大塚、加茂、三森、南部、松本 (美)、岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	3人	0人	8人

前回の改善計画	自治会等のイベントに積極的に参加して地域の方と挨拶やコミュニケーションを図っていく。サービス機関・地域の会議は、出席できる職員に限られるため内容周知ができるよう、LINEWORKS での発信や、会議で報告していける機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	自治会等のイベントや地域の活動には、参加の回数は少ないがタイミングが合えば積極的に参加し、地域の方と挨拶したりコミュニケーションを図れている。その他のサービス機関や自治体、地域包括支援センターとの会議には担当職員が参加しており、その資料や会議録は回覧や LINEWORKS で情報発信し、参加していない職員も目を通している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	5	2	0	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	5	2	0	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	7	1	0	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	5	3	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
自治会や地域のイベントには、利用者の状態、職員体制を考えながら可能なものには参加している。また、自衛消防隊として初期消火訓練競技に参加したり、地域の防災訓練に参加している。 その他サービス機関や自治体、地域包括支援センターとの会議には担当職員が参加し、必要な情報は回覧や LINE WORKS で発信し、直接参加していない職員も意見を伝えるなど関りを持っている。 運営推進会議にて認知症利用者の事例検討を行い多職種の皆様から提案やご意見をいただき、ケアについて議論し、認知症を理解し地域全体で見守る環境作りの必要性などを話し合うことができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の活動やイベントには回数は少ないがなんとか参加できている状況。 近隣にどのような機関や団体があるのかを把握しきれていない。 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民の来訪については、高齢者は訪れる機会はあるが、若年層は訪れていない。コロナ禍を経て来訪が無くなっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域の活動やイベントに参加し地域の方とコミュニケーションをとり、事業所の存在を広く知っていただくと共にこちらも地域の情報を得て、交流や活動の場を広げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 10月 7日(13:00 ~ 13:30)

7. 運営

メンバー 大竹、花島、大塚、加茂、三森、南部、松本(美)、岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	0人	0人	8人

前回の改善計画	委員会や業務担当、利用者検討議題を事前に明確にしておき、会議で意見交換を行なう。会議は順番に全員参加できるように業務分担を工夫していく。地域に必要とされる拠点であるために、事業所の活動なども広く知っていただけるよう広報にも努め、自治会のイベント等に参加し地域の方と意見交換を行なう。
前回の改善計画に対する取組み結果	委員会、会議等は順番に参加できるように業務分担しており、また、事前に意見を収集して直接参加できなくても意見を反映できている。 運営推進会議については内容の情報発信が少なく、参加していない職員はわからない部分が多い。 勝田台地域包括支援センター共に「ともカフェ(認知症カフェ)運営委員会」に参画し、認知症等の地域啓蒙活動を行えているので今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	8	0	0	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	0	0	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	0	0	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	8	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者や家族、介護者、地域の方から意見などをいただいた時はすぐに報告し、LINE WORKS やご意見シートに記載して情報共有し、可能な範囲で応えられるように工夫し即時に対応している。検討や調整が必要なものについてもできる限り早く話し合いの場を設けて運営に反映されるようにしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域に必要とされる拠点であるために地域の行事や自治会のイベントに参加したり協力しているが、事業所の存在や活動内容の周知は十分ではない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域に必要とされる拠点であるために、地域の行事やイベントに参加したり積極的に地域と協働した取り組みを行い、事業所の存在や活動を広く知ってもらおう。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 12日 (13:00 ~ 13:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大竹、花島、三森、加茂、大塚、松本(美)、岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	0人	0人	7人

前回の改善計画	資格取得やスキルアップ研修に参加し知識を増やし、研修を受けっぱなしにすることなく学んだことを実践でやってみる機会をつくっていく。ヒヤリハット報告書を上げて、リスクマネジメント委員会で分析・検討し、事故につながらないようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修に参加し、学んだことを現場で実践できるよう、参加した職員は内容や資料を発信し、会議の場で伝達研修を行うなどして他の職員にも情報を伝えている。必要な知識については、事業所内でも図などを交えながら勉強する機会を作っている。ヒヤリハット報告書を積極的に記録に残し、再発防止に取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	2	0	0	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	2	0	0	7
③	地域連絡会に参加していますか	3	3	1	0	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	0	0	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
資格取得、研修(職場内・職場外)には出来る限り参加できる職場体制になっており、自己のスキルアップやケアの実践、各職種に活かせるよう努めている。参加していない職員へ資料が閲覧出来る様にLINEWORKS等で発信し参考にしてている。地域連絡会には担当職員が参加、他事業所や多職種と意見交換や親睦を深めている。必要な内容は他の職員にも伝達している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会の内容を口頭で伝える形式となっていて全職員が確認できる会意義録や資料の閲覧する体制とはなっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修や地域連絡会は参加した職員がそこで得た知識や情報を会議録形式で、LINEWORKS等において発信し、他の職員への伝達できる体制を整える。 リスクマネジメントにおける、ひやりハット等の基準を明確にし、全職員が事故防止につながるような意見を出せるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 12日 (13:00 ~ 13:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大竹、花島、三森、加茂、大塚、松本(美)、岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	0人	0人	7人

前回の改善計画	職員間の業務伝達は声の大きさや内容に注意し、ご利用者様に個人的な内容を聞く場合は内容によっては場所を移動し、耳が遠い場合は、筆談を使い個人情報の取り扱いに意識をもつ。職員間の話が気にならないように、音楽をかけたり、レクなどをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	プライバシーの保持のために音楽をかけたりすると共に、利用者が興味のある映像をモニターで流すなど配慮をしている。耳の聞こえが悪い方には筆談や集音器などの利用をすすめる、大声での会話にならないよう配慮している。職員間の伝達は場所や声の大きさに注意し、メモやLINE WORKSを活用。電話の際も、話す場所や声の大きさに注意をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	1	0	0	7
②	虐待は行われていない	6	1	0	0	7
③	プライバシーが守られている	2	5	0	0	7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	6	0	0	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	2	0	0	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待は行われていない。身体拘束や虐待について全体研修や定例会議等で研修、勉強会実施。限られたスペースを工夫して、排泄や入浴介助、静養の際などのプライバシーを守っている。個人情報について、鍵付き棚で保管、破棄の際はシュレッダーを使用し管理。プライバシーに関する話は、会話をする場所に気を付けており、職員間の伝達は場所や方法を考慮し利用者に配慮して行えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所面積を拡大してからまだ、活動別に場所を決め「休む場所」「一人で過ごす場所」など、活動と場所を結びつけ「物理的構造化」を行うことができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員間で声を掛け合い、スピーチロックや相手が不快に感じる言葉遣いに注意し、利用者の人権・プライバシーを守り、快適に過ごしていただく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠燿会	代表者	津川 恵美子	法人・事業所の特徴	ご利用者一人一人の人格を尊重し、多職種と連携し、住み慣れた地域での生活を継続が出来るよう、また地域住民との交流や地域活動へ参加し、今までのつながりを断ち切らない支援を行う。通い、訪問及び、宿泊を柔軟に組み合わせ、地域での暮らしを支援する。おとなの学校メゾット・生活総合機能改善機器【回想法・カラオケ・運動・口腔体操】外出企画を行い【楽しい・面白い】を共有しご利用者を笑顔にしていきます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンビル 勝田台	管理者	大竹 暁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	2人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご利用者の能力や希望、目的に合わせて、多種多様な手段で住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう総合的に支援を行い、医療機関等と連携、職員同士の情報共有（オンライン活用等）八千代台と協力し、ご利用者の支援をしていく。	八千代台や多職種と協働し、ご利用者の能力や状態、希望に合わせた支援を行い、馴染みの関係の継続や地域のイベントへの参加など、地域との関わりを保ちながら住み慣れた地域での暮らしを継続できるように総合的に関わることができた。LINE WORKSを活用して職員間の情報共有ができた。	外部評価するにあたり、シートに沿って説明の場があると他の委員含めて書き易いのではないかと感じた(添付資料は頂いたがこちらのシートと完全にリンクはしていない為) スタッフ全般の定着率が高いと推測される、スタッフ間のコミュニケーションも良好で各自が問題意識を共有して改善に取り組んでいる。	事業所自己評価の確認について、運営推進会議時、委員の方々にシートに沿って説明を行い、より理解を深めて頂き評価に当たっていただく。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所も大きく明るく開放的になり、ご利用者と一緒に四季を感じられる製作を行い室内の飾り付けをしていく。感染症対策・衛生管理・整理整頓を適切に行い、安心と安全な空間を提供できるようにしていく。	ご利用者個々の能力や状態、お好みに合わせた制作工程を一緒に行い、季節の制作や飾り付けを楽しみながら行っていただくことができた。備品の見直し整理整頓を行い、わかりやすく使いやすいう配置を見直し、感染症対策・衛生管理を適切に行えた。	玄関ドアをガラスにして採光ガラスを取り付け等工夫をしている。狭いドアながら利用者の皆様が入り易いように改善された。増設により利用スペースも2倍となり、利用者に人気のあるカクモも増設された。スペースはブラインドを守りながらも地域の方が入りやすい、声掛けしやすい工夫がされている。ご利用者が過ごすスペースに雑然と荷物があることはなく、改善されました。	担当職員を中心に感染症対策、衛生管理、整理整頓を行い、ご利用者が安心安全、快適に楽しく過ごせる環境作りを行う。限られた空間の中で、パーティションの活用などを工夫し、ブラインドの保護に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々との関わりを大切に、地域主催イベントへ参画・作品展開催・体操、料理サークル活動の継続、認知症カフェと新たな地域サークル活動へ協働して行く。今後もサコボ勝田台自治会と共に環境美化活動に参加、自治会会報への発行を継続して協働し馴染みの関係を築いていく。	地域のふれあいフェスタや認知症カフェにご利用者と共に参加し、地域の方々ともつことができた。サコボ勝田台自治会の駅前清掃や「無事ですぐら活動」に参加、サコボだよりの発行、避難訓練など協働して行い、住民の方に事業所の存在や職員を知ってもらうことができた。	多くの職員が気持ちよく挨拶されているがそうでない方もいる、印象は瞬間的なものなのでなたでもなれるように期待します。自治会の事業、駅前美化活動、更に自治会会報の編集・発行に大いにご支援を頂いている。更に本年は自治会防災事業の「無事ですぐら・AED 講座への講師派遣」にも多大なご協力頂いている。	地域のサークルやイベントへの参加や、防災訓練、環境美化活動、認知症カフェなど自治会や地域包括支援センターと協働した取り組みを通して地域の方々とも関わりを持ち、快い挨拶を心掛け、コミュニケーションをとり関係を築いていく。ステージングギャラリーにて作品展を開催し、事業所の存在や活動を広く知って頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	資源マップを活用し「いきいき教室」中央公園での体操などをご利用者に提案し、地域社会から切り離さない支援をしていく。ステージングギャラリーを開催し活動を発信していく。認知症カフェ・「無事ですぐら」等地域包括支援センターと連携し協力していく。	サコボ勝田台自治会、地域包括支援センターと連携し「無事ですぐら活動」を行い地域の一員として活動することができた。地域包括支援センターと協力して認知症カフェ・認知症ボートキッズ講座を開催し、ご利用者やご家族にも参加していただき地域との関わりを継続できるよう支援を行なった。	ご本人のこれまでの生活をアセスメントして、これまでの人間関係などを切らずにサポートしていることがあれば発信してもらいたい。地域の地域包括支援センターと連携して「サコボ勝田台集会所・勝田台会館」にて出前講座を随時お行なっているので、暑い時期や寒い時期など服装に気を付けてイベント等の参加して頂きたい。	これまでの生活や人間関係、趣味活動を大切にし、参加可能な地域のイベントやサークル活動等、関わりを継続できるように支援をして地域での生活を支援する。その内容は事例検討等で発信していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の取組みを報告し事例検討を実施し、認知症 BPSD（行動心理状態）やニーズを「見える化」して、地域の課題についても地域包括支援センターや関係機関と協働して改善に努めていく。	運営推進会議にてご利用者の活動の様子や事業所の取組みを報告。事例検討を行い広く意見をいただき、認知症の方を地域で支える取組みができた。防災・防犯について地域の課題を話し合うことができた	会議で提案、議論された課題を事業計画に意欲的に取り入れています。特に推進委員の皆様も本音で話し合える間柄になりました。会議において、事業所として住民の方に出る事の案内もされていたので、身近に感じてもらいやすいのではないかと思います。	運営推進会議にて活動や地域での取組みを報告し、事例検討や地域の課題を話し合い、ご利用者の地域での生活、地域の課題に委員の方と一緒に取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災会議に参加し、関係機関と連携し、引き続き防災訓練へ管理組合及び管理事務所に参加して頂き実施、また地域の防災訓練に参加していく。ご利用者の避難場所の把握、事業所内の防災備品の確認、防災・災害対策を検討していく。	地域の防災訓練、初期消火競技大会へ参加し、事業所の防災訓練には管理組合及び管理事務所に参加していただき実施できた。また、運営推進会議でも災害対策について話し合っている。事業所の防災備品を確認・見直し補充を行なった。	地震、その他不時の災害に備えて、介護施設としての対応を管理組合・管理会社と協議することを要望いたします。地域包括支援センターも防災訓練に声掛け頂きたい。	地域の防災訓練に参加し、事業所の防災訓練に管理組合、自治会、地域包括支援センター、運営推進委員等に参加頂き、災害時の連携、職員の動き、その備えについて協議する。